

藤田潜 ひそか 英學者。嘉永元年十月十二日陸奥國中津輕郡鹽分生れ、
大正十一年五月四日没（八四—九三）。幼名徳太郎。安政四年松前藩
鹽楮古館に入り漢學を修むる。維新後敬應學舎、東嶽義塾等に入り、
明治五年近藤道孝の攻玉塾に入る。翌年幼年部英學教授となり、爾來
教授總監、攻玉社副社長、本館長、尋常中學校（のち攻玉社中學校）
初代校長等攻玉社の役職を以て一貫した。森鷗外、「涇江柑齋」の徳
太郎時代の梅話がある。また海軍大將、侍從長となつた藤田尚徳ひそかはそ
の次男。

譯書『ワルドシーヤ傳』（明治三十二年六月一日警醒社書店）。外崎
克久著『北の防人—藤田潜と攻玉社』（昭和五十二年八月二十日外崎
克久刊）がある。

